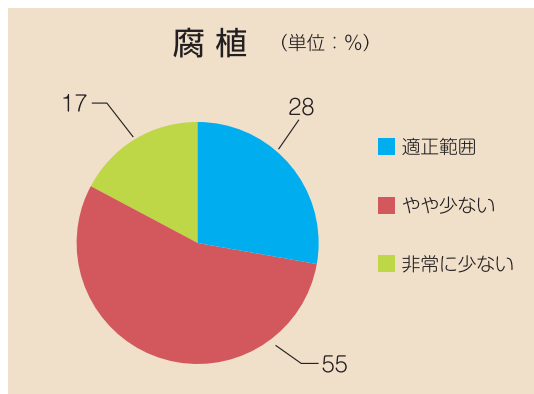
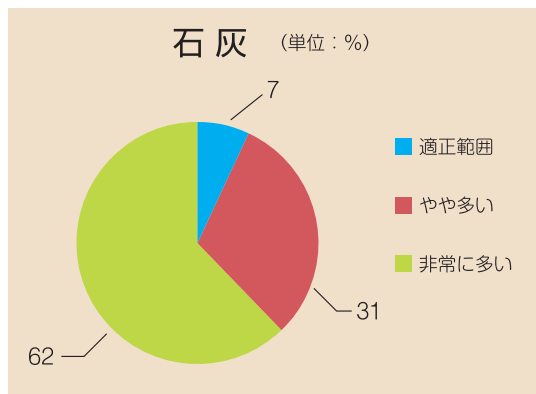


平成25年夏に実施しました土壌分析(作物名:野菜全般188圃場)の結果。



管内全般を通して石灰カルシウムが多く、腐植が少ない傾向です。ここで気をつけたいのは、「一度に多量の石灰を施さないこと」、「毎作施用せず作物に応じて施用する」石灰を多用しすぎると、マグネシウム、鉄分などの吸収が悪くなります。また、腐植が少ないと良質な野菜づくりは期待できません。

ところで腐植とは？

土のなかに存在する有機物のことを指します。堆肥などの有機物には次のようなすばらしい効果があります。

団粒化を促す

堆肥などの有機物を施すと、土中の微生物がそれを分解します。その分解物は土粒と土粒を結びつける働きがあり、土を団粒化し、団粒と団粒が結合して、さらに大きな団粒になります。団粒になることで、土のすきまが多くなり、通気性や排水性が良くなります。

土壌微生物の働きを活性化

有機物は微生物の活動エネルギーになり、分解された窒素やリン酸などの元素は、植物に有効に働きます。また、吸収されずに余った養分は、微生物が吸収することで一次的に貯蔵されます。

肥あたりを防ぐ

腐植の多い土は、肥料をやりすぎても肥あたりを和らげる働きがあり、また、有機物から出る腐植酸や有機酸といったものが、野菜の生育をよくしてくれます。

安定して品質のよい野菜を収穫するには、十分な堆肥などの有機物を継続して土に混ぜ込む必要があります。化成肥料や配合肥料を施せば、短期間なら野菜を収穫できますが、有機物の施用がないと、土はだんだん痩せていき生育が悪くなり、収穫量と品質が低下していきます。

堆肥の施し方

- ・全面施用：堆肥を圃場の全面に散布し、土と良く混ぜ込む方法です。(年間約1.5～2.0トン/10a施用)
- ・作条施用：畑の畦の肩の部分に、条(すじ)状に施肥する方法です。(2～3キロ/1㎡施用)

主な堆肥の種類と特性

堆肥の種類		含有成分の割合 (%)			特性と使い方
		窒素	リン酸	カリ	
栄養堆肥	牛糞	2.0～2.5	1.0～5.0	1.0～2.5	豚糞、鶏糞より肥効はおだやか。葉菜や果菜に適する。
	鶏糞	4.0～6.0	6.0～8.0	3.0～4.0	化学肥料なみの肥効がある。施用後十分時間をとる。
ふかふか堆肥	腐葉土	0.3～1.0	0.1～1.0	0.2～1.5	葉と土を1年以上腐熟させたもの。どんな野菜にもよい。特に花に向く。
	パーク堆肥	0.8～3.0	0.2～2.0	0.3～1.0	何らかの肥料分を加え樹皮を発酵させたもの。何にでも向くが、よく発酵したものを使うこと。

「神奈川県作物別肥料施肥基準」より抜粋「みんなの農業広場」HPより引用

詳しくはJA大阪北部購買店舗または能勢宮農経済センターへお問い合わせ下さい。

宮農
インフォメーション



EINO
information

良質な農産物は土づくりから